

## 次期経営計画の基本方向

### 1 経営計画を策定する目的

医師不足等の限られた医療資源の中で、県民に良質な医療を持続的に提供するためには、県立病院間はもとより、他の医療機関との役割分担と連携をより一層進める必要があり、また、安定した経営基盤の確立が求められることから、これらの実現に向けた方策を明らかにする。

### 2 次期経営計画の方向性

現経営計画の取組状況		次期経営計画の基本方向																							
項目	主な取組実績	課題等																							
1 東日本大震災からの復旧・復興に向けた取組	1 被災病院の再建に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大東病院の整備方針を決定し、工事設計に着手</li> <li>・沿岸部被災3病院（高田・大槌・山田）の整備方針を決定（3月予定）</li> </ul> 2 災害時における電気・通信手段等の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常用発電設備整備に係る工事入札実施（中央・釜石・胆沢・中部：25年度工事）</li> <li>・衛星携帯電話の整備（各病院等25台）</li> </ul> 3 被災病院及び被災地域の基幹病院等の診療機能確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災地域病院への即戦力医師の招聘：24年度6名</li> </ul>	1 被災した高田病院・大槌病院・山田病院は、次期経営計画期間内に整備する計画としている。 2 被災病院の整備にあたり、医師・コメディカルの確保が必要である。 3 内陸部の病院から被災病院及び被災地域病院に対する診療応援策の構築。	<b>○被災病院の整備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災した病院の整備は、次期経営計画を前倒して計画したものであり、次期経営計画内の整備に向けた取組みを進める。</li> </ul>																						
2 県立病院間の役割分担の明確化と特色ある医療の提供	1 圏域内の病院群の一体的・効率的な運営 <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域基幹病院への業務の集約（総務事務・検体検査・栄養管理）</li> <li>・県立病院間の診療応援 (21年度5,550件、22年度5,967件、23年度5,096件、H24.12.1現在:4,385件)</li> </ul> 2 保健医療圏の状況を踏まえ、病院ごとに基本的な役割・機能を定め、適切な病床規模で運営を行うための取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・5つの地域診療センター及び沼宮内病院を無床診療所へ移行</li> <li>・病床数の適正化（稼動：20年度末5,539床 ⇒ 23年度末4,994床 △545床）</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th></th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">病床利用率 (一般・療養)</td> <td rowspan="2">%</td> <td>計画</td> <td>78.6</td> <td>83.6</td> <td>84.0</td> <td>84.2</td> <td>84.2</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>78.6</td> <td>78.1</td> <td>78.3</td> <td>80.7</td> <td>76.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※24年度は10月1日現在</p>	項目	単位		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	病床利用率 (一般・療養)	%	計画	78.6	83.6	84.0	84.2	84.2	実績	78.6	78.1	78.3	80.7	76.1	1 医師不足及び医師の偏在という状況の中、限られた資源で効率的に医療を提供していくためには、強力に地域連携と機能分担を進める必要がある。 2 入院患者の動向等に対応した病床適正化の推進が必要である。	<b>○現行体制を基本</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現行体制（20病院・6地域診療センター）を基本として、県立病院間の役割分担と連携のもと、各病院・地域診療センターの規模や機能を設定する。</li> </ul> <b>○県立病院相互の役割分担と連携の強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次保健医療圏を基本とした県立病院相互の役割分担と連携については、現経営計画の基本方向に位置付けており、医師不足等の限られた医療資源の中で、県民に良質な医療を持続的に提供するため、更なる役割分担と連携の強化を図る。</li> </ul>
項目	単位		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度																		
病床利用率 (一般・療養)	%	計画	78.6	83.6	84.0	84.2	84.2																		
		実績	78.6	78.1	78.3	80.7	76.1																		

現経営計画の取組状況			次期経営計画の基本方向
項目	主な取組実績	課題等	
3 良質な医療を提供できる環境の整備	1 医療の質の向上を図るための取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院機能評価の新規取得 2 病院、更新 10 病院（21 年度～25 年度：予定）</li> <li>・クリニカルパス適用率の向上（21 年度 41.1% ⇒ 23 年度 47.2%）</li> <li>・患者満足度調査における「満足・やや満足」の割合の向上</li> </ul> 基本的な接し方 21 年度 48.1%⇒24 年度 55.4%（7.3%向上） インフォームド・コンセント 21 年度 46.0%⇒24 年度 52.6.7%（6.6%向上） 2 病院の施設・設備の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震化工事の実施（釜石、江刺）</li> <li>・高度医療機器については、必要性や他の医療機関との機能分担と連携及び経営収支の状況を精査のうえ整備</li> </ul> 3 医療情報システムの整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子カルテの導入（中部・久慈・胆沢・中央・大船渡）</li> </ul>	1 老朽化した施設等の整備が必要である。 2 電子カルテ未導入病院について、導入計画を検討する必要がある。	<b>○施設整備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経年対応の必要な施設・設備等については、毎年度の収支状況を勘案しつつ、計画的な整備を検討する。</li> </ul>
4 医師不足解消に向けた取組	1 医師の絶対数の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・常勤医師数（20 年度末 474 人 ⇒ H24.12.1 現在 488 人）</li> <li>・即戦力医師招聘（21 年度 9 人、22 年度 12 人、23 年度 23 人、H24.8 月末現在 17 人）</li> <li>・臨床研修医数（21 年度 52 人、22 年度 59 人、23 年度 48 人、24 年度 55 人）</li> <li>・後期研修医数（21 年度 63 人、22 年度 57 人、23 年度 47 人、H24.12.1 現在 64 人）</li> </ul> 2 医師の業務負担の軽減 <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な認定看護師等の専門資格職員の養成（認定看護師（15 分野 53 名）、専門看護師 1 名）</li> <li>・医療クラークの増員（定数：21 年度 100 人 ⇒ 24 年度 246 人）</li> </ul> 3 臨床研修体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研修医数（21 年度 52 人、22 年度 59 人、23 年度 48 人、24 年度 55 人）</li> <li>・後期研修医数（21 年度 63 人、22 年度 57 人、23 年度 47 人、H24.12.1 現在 64 人）</li> </ul>	1 関係大学からの派遣医師の減少に対する対策の強化が必要である。 2 奨学生等の増加に対応する、効率的な配置調整等が必要である。 3 病院に求められる役割、医療安全確保、患者の QOL 向上等に配慮した認定看護師の育成が必要である。 4 医療クラークの質の向上と業務内容を充実する必要がある。	<b>○医師の確保、職種間の連携の強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の絶対数が不足していることから、その解消に向け、必要な病院・診療科に医師を確保するための取組みを進める。</li> <li>・医師、医療従事者の負担軽減を図るため、職種間の連携を強化する。</li> </ul>
5 職員の資質と満足度の向上	1 人材育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な認定看護師等の専門資格職員の養成等、キャリアデザインに応じた人材育成（認定看護師（15 分野 53 名）、専門看護師 1 名）※再掲</li> </ul> 2 働きやすい職場環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・育児短時間勤務制度の導入</li> <li>・夜勤専従看護師制度の導入</li> </ul>	1 県民に十分な医療サービスを提供するために必要な人的資源が不足している。 2 職員を増やすのか、減らすのか、部門ごとにメリハリをつけるのかなどの方針が不明確である。	<b>○人員の重点配置、人材の育成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営上の視点から、部門・部署に対する人員の重点配置について、人員増による収益確保の見通しを踏まえながら、職員定数の見直しも視野に入れた検討を行う。</li> <li>・職員の資質の向上を図るため、専門資格職員の計画的養成や効率的な配置、キャリアデザインに応じた人材の育成などを行う。</li> </ul>

現経営計画の取組状況									次期経営計画の方向性
項目	主な取組実績							課題等	
6 安定した経営基盤の確立	1 収益の確保の取組								<p>1 平成 24 年度最終予算においては、11 億円余の収益が生じ、累積欠損金は若干縮減される見込みであるが、地方公営企業会計基準の見直しに伴う、退職給与引当金の計上により、累積欠損金は 280 億円余増加する見込みである。</p> <p>2 消費税率の引上げにより、消費税負担額が増加する見込みである。 (消費税負担額から診療報酬補填額等を除いた医療局の最終負担額は、23 年度決算で 3 億円余と推計)</p> <p>3 診療報酬改定ごとに収支が変動し、収支計画の見通しが不安定である。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>診療報酬の適正算定等のため、医事業務指導及びフォローアップを実施</li> <li>上位の施設基準の取得</li> <li>7 対 1 看護体制の導入 (21 年度～ 5 病院導入)</li> </ul>								
	2 費用の効率的執行								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員給与費の適正化</li> <li>材料費の抑制 (後発医薬品の使用拡大、採用医薬品の見直し・同種同効薬の整理統一促進、SPD の全病院への導入)</li> </ul>								
	経常収支比率	%		20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	
			計画	96.9	98.5	99.7	100.1	100.6	
			実績	97.0	97.9	100.1	101.0	101.2	
	医業収支比率	%	計画	91.0	92.9	94.8	95.9	96.4	
			実績	90.8	92.9	94.2	94.6	93.8	
	累積欠損金	百万円	計画	16,820	18,197	18,432	18,313	17,742	
		実績	16,780	18,942	20,032	20,505	19,397		
職員給与費対医療収益比率	%	計画	63.8	60.9	59.9	59.6	59.2		
		実績	63.9	61.3	60.8	61.2	60.7		
材料費対医業収益比率	%	計画	27.0	26.1	25.2	24.9	24.9		
		実績	27.1	26.8	25.9	25.0	26.2		
※24 年度は決算見込									
7 地域連携と地域との協働による病院運営	1 他の医療機関等との役割分担と連携								<p>1 次期医療計画 (25 年度～) に基づく、地域の医療連携体制の中で、県立病院としての役割分担と連携を進める。</p> <p>2 市町村により地域医療等への意識の格差があるため、引き続き、県立病院の現状・課題等の説明が必要である。</p>
	項目	単位		20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	
	紹介率 (中央及び基幹病院)	%	計画	34.7	37.2	38.6	39.5	40.4	
			実績	31.6	39.4	43.4	41.6	46.0	
	逆紹介率 (中央及び基幹病院)	%	計画	26.7	27.8	29.2	30.4	31.6	
			実績	23.5	27.1	31.8	29.5	33.8	
※24 年度は 11 月現在									
2 地域からの意見聴取、病院の現状・課題等の説明									
<ul style="list-style-type: none"> <li>圏域連携会議への参画、地域懇談会の開催、運営協議会の再開</li> </ul>									
<p>○累積欠損金の縮減に向けた経営改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>累積欠損金の縮減に向け、更なる経営改善に取り組む。</li> </ul>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>県立病院の現状や課題等について、地域の住民から理解を得られるよう、積極的な情報提供を行うとともに、地域からの意見を聴取し反映させるという観点から、運営協議会等の地域との情報交換の場を引き続き設けるなど、協働による病院運営を行う取組を進める。</li> </ul>									